

平成19年度事業計画書

自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日

社団法人 全国建設室内工事業協会

我が国経済は、民間企業の好調な設備投資と、雇用情勢の改善等による個人消費の堅調に支えられ、国内景気は戦後最長であった「いさなぎ景気」を超えて拡大しております。その中であって、私ども全室協は昨年創立30周年の記念すべき節目を迎え、諸官庁のご指導はじめ、特別会員、及び関連業界のご協力を賜り、会員一同大きく前進して参っております。

我々の関係している建設業界は、公共事業投資は引き続き大幅に減少されており、民間建設投資が好調を維持しているものの、全体的には減少傾向が続いております。その結果価格競争が激化し、相変わらずダンピングや指値発注等、厳しい経営環境が続いております。

また、一昨年来よりの談合事件や耐震強度偽装問題等々業界の信用を問われるようなことが相次ぎ、我々内装業界といたしましても多くの難題を抱え厳しい状況下におかれました。

このような経済情勢のなか、低価格競争の影響や、少子高齢化社会もかさなり、品質確保に支障を及ぼすことのほか、技能工の確保・育成等、専門工事業者のみならず建設業に携わる者に対して今後の先行きに大きな不安を与える状況であります。

(社)全室協では、平成元年に第一次構造改善事業をスタートさせ、昨年度より「企業体質の強化」「安全で良質な責任ある建築物の提供」をメインテーマに第六次構造改善事業をスタートさせ推進しております。

本年度は、21世紀を担う内装工事業界の基盤を作り、更なる元請・下請関係の適正化の推進を目指します。また、建設業の根幹をなす建設専門工事業としての誇りを持ち、専門工事業団体で構成する「社団法人建設産業専門団体連合会(略称：建専連)」の一員として、政策提言集団として活動を通じ関係行政機関との連携を図り諸問題に前向きに取り組み、内装工事業の経営の近代化・健全化の推進等に積極的に行動し、内装工事業界のレベルアップを図ってまいります。

(社)全室協は、会員・特別会員とともに力と英知を結集し、蓄積した実績をもとに社会的・経済的地位の向上を目指し、下記の事業活動を積極的に展開推進してまいります。

記

1. 新分野・新市場の開拓と経営革新、及び近代化を図る。

(1) 会員増強のための活発な活動の推進

- (2) 有望な新市場の調査・開拓を推進
 - (3) リフォーム・コンバージョンビジネス・リニューアル事業の研究と推進
 - (4) 多様な建設生産システム、CM方式、分離発注、異業種JV等の研鑽
 - (5) 情報技術(IT)を活用した全室協ネットワークを構築
 - (6) 元・下関係の適正化に向けての対応をさらに強化
 - (7) 大規模建築空間の耐震対策の開拓と推進
2. 自主管理施工の強化推進を図る。
- (1) 建設廃材処理問題の対策を推進
 - (2) 建築施工管理技士、内装仕上工事基幹技能者、技能士、及び経理事務士等の資格取得を支援、推進
 - (3) 若年就業者の確保と外国人就業者の研究と推進
3. 品質管理体制の整備を実施する。
- (1) 会員企業社員のレベルアップを図るため、社員教育を実施
 - (2) 富士教育訓練センターの活用を図り、会員企業の技能・技術・管理体制の向上
 - (3) 内装工事瑕疵担保保証制度の活用推進
 - (4) 経営相談(ワンストップサービスセンター事業)の推進
4. 特別会員との強調を深め、随時、本部・支部において研究会を開催する。

以 上